

# 年 頭 の ご 挨拶



菊陽町長  
後藤 三雄

新年明けましておめでとございます。  
平成二十二年の新春を迎えるにあたりまして、町民の皆様のご多幸とご健勝を心から祈り申し上げますとともに、町民の皆様の町政に対する暖かいご理解とご協力をいただいておりますことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

わが国の社会経済情勢は、緊急雇用対策事業の実施をはじめ景気対策予算の補正等景気対策のための施策が進められる中におきましても、全世界における経済不況のため、なお、厳しい状況が続いております。

このような中、本町におきましては菊陽中部小学校の合唱部が東京都で行われたNHK全国学校音楽コンクールに出場し、初出場で銅賞に輝くという快挙を為し遂げ、さらには武蔵ヶ丘中学校女子駅伝チームが九州大会で準優勝し、山口市で行われた全国大会に出場するなど明るい話題もあり、全国に「菊陽町」を知らしめることができましたことを大変嬉しく思っております。

本町におきましては、昨年も、道路、区画整理、下水道等の社会基盤を整備してまいりました。

このため、光の森地域をはじめ菊陽第一、第二土地区画整理事業地内等におきまして、住居、商業施設等が建設され、昨年十一月末の人口が三万六千二十一人となっております。今後とも人口の増加が見込まれます。  
施設整備では、横道合志線の跨線橋の建設、武蔵ヶ丘中学校の耐震補強等に取り組みました。

国は、昨年十一月の月例経済報告でデフレを宣言、日本銀行は、デフレの存在を事実上認め、最大限の努力を行うこととしており、経済対策の実施により一日も早い景気の回復を願うものであります。地方の財政状況は、景気が回復しない限り非常に厳しい状況が続くこととなります。財政改革推進や地方分権の流れ等と相俟って、市町村の権限と責任が益々大きく重くなり、地方自治体運営がますます厳しいものとなりつつあります。

本町におきましては、「第三次菊陽町行財政改革大綱」をもとに健全運営のために引き続き行財政改革に取り組んでいるところでございます。

今後におきましては、あらゆる知恵と力を結集し、町民の皆様との協働により将来ビジョン「人・緑・元氣 輝く 生活創造都市」の実現に向け、取り組んでまいりたいと決意を新たにしておりますので、一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、町民の皆様の方々の健康ご多幸をお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。



菊陽町議会議長  
吉村 豊明

平成二十二年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃より町議会に対し、温かいご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

ここに新年を迎え、菊陽町の一層の発展を願うものであります。

昨年は、衆議院選挙の後、民主党を中心とした連立政権が誕生し、政治の姿も大きく変わろうとしている中、新年を迎えました。

さて、国際社会は、経済危機対策や地球温暖化防止対策、テロや核問題など、また、国内でも、失業者や新卒者の雇用対策、介護や子育て支援、拉致事件などの課題に対し、確固たる姿勢が求められています。

これから先、本格的な少子高齢化に伴い、社会保障費の問題や国内外の経済問題など、大きな課題に直面しています。

国においては、厳しい財政事情の中、これらの課題を克服し、若者が明日に希望を持ち、

お年寄りが安心して暮らせる国づくりを進めているところであります。

そのような中、本町は緊急雇用対策をはじめ、企業誘致、区画整理事業、少子化対策や医療介護サービス提供などの諸施策を積極的に取り組み、活力のある誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現を目指しているところであります。しかしながら、財政上のこともあり、まだまだ多くの課題が先送りの状況にあります。

特に、セミコンテクノパークに通じる菊陽空港線の延伸の早期着工を熊本県に陳情しているところであります。

さらに教育関係では、小中学校の校舎の耐震調査に伴う補強・改修工事等の中で、中部小の建て替え関係につきましては町民の皆様にご心配をおかけいたしております。また、快適な生活環境づくりとして公営住宅の改築工事、農業の担い手や後継者の育成など、本町の取り組みべき課題は山積しております。

議会としましては、町民の皆様の方々の率直な意見を聞きながら、均衡ある町発展のために執行部と力を合わせ、皆様の生活の安定向上のため、さらに努力していく所存です。

今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、町民の皆様がこの一年を健康で幸せに過ごせますようにお祈りし、年頭のご挨拶といたします。